

第4学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『地震にそなえるまちづくり』

(教科書：『小学社会4』p. 82～115／学習指導要領：内容（3））

2. 小単元の目標

熊本地震に関するグラフや資料を読み取り、自分の経験と合わせてわかりやすくまとめ、消防署、警察署、熊本市等が連携し、安全を守り災害に対応していること、地域住民で協力して防災意識を高め、災害に備える取り組みが行われていることを理解できるようにする。

人々の安全を守るための関係機関の働きと、そこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力、自分たち（家族、友達も含む）で災害に備え、地域の人とのつながりを深めたり、生活の中で防災への意識を高めたりする必要があることを考えて表現できるようにする。

地域社会における、災害や火事の防止について、関係機関が地域の人々と協力して、火事や災害の防止に努めていることや、熊本地震での復旧・復興に向けて熊本市や関係の諸機関が様々な取り組みを行ったこと、関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処するための体制をとっていることを、見学・調査、資料の活用を通して調べたことをもとに捉え、災害に備えて自分たちにできることを考えられるようにする。

3. 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">熊本地震に関するグラフや資料を読み取り、自分の経験と合わせてわかりやすくまとめている。消防署、警察署、熊本市等が連携し、安全を守り災害に対応していること、地域住民で協力して防災意識を高め、災害に備える取り組みが行われていることを理解している。	<ul style="list-style-type: none">熊本地震のときに受けた支援に着目して、問いを見出し、災害時の支援について考え、表現している。人々の安全を守るための関係機関の働きと、そこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力、自分たち（家族、友達も含む）で災害に備え、地域の方とのつながりを深めたり、生活の中で防災への意識を高めたりする必要があることを考え、表現している。	<ul style="list-style-type: none">熊本地震からの復旧・復興について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。学習したことをもとに、災害に備えて自分たちにできることを選択・判断している。

4. 指導にあたって

(1) 子どもが主体的に学ぶ教材開発の工夫

単元前半の消防を中心にした関係機関の取り組みでは、関係機関、熊本市、地域等の「連携」「協力」の仕組みや関係する諸機関の工夫や努力などについて学ぶ。単元後半では、「何かを片付けたりつくったりするのはなく、つながりや地域づくりを意識した活動ができないか」というTさんの思いや取り

組みから、目に見える取り組みや特別な取り組みだけでなく、災害時には、人と人との「つながり」が大切であり、日常の生活や地域の活動が災害の備えにつながっているということを考えることができる。この二つの教材を取り上げることで、災害時の関係機関や熊本市等の働きを学び、災害に備えた地域でのつながりの大切さを捉え、地域の一員として社会参画の意識を育てることができる。

(2) 思考力・判断力・表現力を高める学習過程の工夫

指導計画の第1時～9時(単元前半)では、「熊本地震」からの復旧・復興に向けて、消防署等の関係機関の人たちが助け、支えてくれていることを学ぶ。また、その関係機関は、災害や火事に備えて様々なことに取り組み、それぞれに工夫や努力をし、関係機関どうしが連携を行っているということをつかむ。

指導計画第10時～14時(単元後半)では、故郷の西原村で復旧・復興支援に取り組むTさんが瓦礫の撤去や掃除などではなく、「冬ほたる」(地震の被害で住民が減った地域をランプシェードで明るくする活動)の活動をしていることを提示し、「なぜ、Tさんは、西原村の復旧・復興のために帰ってきたのに、『冬ほたる』の活動をしているのだろう」という子どもの問いを引き出したい。この問いを追究することで「何かを片付けたりつくったりするのではなく、自分ができることをする。つながりや地域づくりを意識した活動ができないか」というTさんの考えや行動の意味を子どもたちが考えられるようにする。また、「そば打ち体験」「梅干しづくり」など地域の人たちのつながりを意識した取り組みから、目に見える取り組みや特別な取り組みだけでなく、災害時には、人と人との「つながり」が大切であり、「つながり」をつくる日常の生活や地域の活動が災害の備えにつながっていることを考えさせたい。一人一人がそれぞれの考えを持ち、話し合う言語活動では、「つながりや地域づくりを意識した活動ができないか」「地域のこれから先のことを考えることが大切だ」というTさんの思いや考えの意味や活動の意義について子どもなりの考えを持ち、その考えを話し合う。自分たちの生活を振り返り、地域の活動や日常の生活を見直し、今の自分たちができることやできていることを考えたい。熊本地震での経験や日常生活での体験などと関連させながら考え、話し合いができるようにしたい。

(3) 子どもの学びを見取る評価の工夫

子どもの授業中の発表、気づきやつぶやきを広げていきたい。子どもの発言からわかる考えや思いを板書に残し、発言内容を整理したり、他の子どもの考えや根拠とつなげたりするように心がける。自分の考えをあらためて見つめたり、周りとのつながりを考えたりするのに役に立てたい。また、子どもが考えたことを座席表にまとめ、授業中の発表や授業後の感想から子どもの思考やその変化を読み取り、学習をコーディネートし、子どもの思考過程を丁寧に追いつながりながら授業を展開できるように心がけたい。話し合いの中でノートに書く活動を取り入れ、話し合いにあまり参加できない子どもが自分の考えをまとめて明確化できるようにする。また、小単元前後で、地域の行事に対する考え方の変容を追い、この小単元の学習で獲得した見方・考え方が他の社会的事象にも転用されていることを確かめたい。

5. 小単元の指導計画(総時数 14 時間)

時数	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料◇留意点◆評価
① (出会)	熊本地震について振り返り、災害時の支援について学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	<p>○熊本地震から、1年半が経った熊本、出水地区について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震から1年が経って、今どんなことを思うかな。 ・今は、もとの生活に戻っていると思う。 ・熊本地震のときの様子などについて話し合おう。 <p>○それぞれの写真を見て気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て気づいたことや考えたことを書いて、発表しよう。 ・消防士が人を助けている。 ・自衛隊の人が物資を配っていた。 ・市役所やボランティアの人が手伝ってくれた。 ・地震が起きてすぐに助けに行っているのかな。 <p>○話し合いをもとにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人たちの活動があつて今のまちになってきた。 ・熊本地震のときは、たくさんの人たちに助けてもらった。 <p>・これからどんなことを学習していくのか、学習課題を立てよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題</p> <p>「熊本地震」の復旧、復興に取り組んでくれた人々の活動やその人たちの今の取り組みについて調べよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震のとき、消防士や自衛隊、ボランティア等の人たちは、どんな活動をしていたのだろう。 ・人命救助をした。 ・119番通報に対応した。 ・火事を消していた。 ・けがをしている人を救急車で運んだ。 ・地震のときは大変だったけれど、今は普通の生活ができています。 	<p>◎消防士が救助をしている写真</p> <p>◎自衛隊が炊き出しをしている写真</p> <p>◎避難所となった小学校の体育館の写真</p> <p>◆熊本地震について問いを見出し、学習問題として表現している。 (思・判・表/発言, ノート)</p> <p>◆学習問題について予想や学習計画を立て、主体的に追究しようとしている。 (熊/発言, ノート)</p>

<p>② ③ ④ ⑤ ⑥ (さく)</p>	<p>消防士の仕事について調べ、工夫や努力、関係機関との協力について理解する。</p>	<p>○消防士の工夫や努力、仕事の様子や1日の仕事、関係機関との関わりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防士は、早く人を助けたり早く消火をしたりするために何をしているのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・早く着替えができるようにしている。 ・消防車の中に道具を準備している。 ・カーナビゲーションを活用している。 ・消火訓練を2回している。 ・トレーニングをしている。 ・朝の整備点検をしている。 ・24時間、災害や火事に備えている。 ・いろいろな人たちと協力している。 ・消防士は関係機関と協力している。 ・消防士の仕事について学習した感想を發表しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・立ち入り検査などをしているとは思わなかった。 ・いろいろなところへ連絡するのも仕事だとわかった。 ・火事や災害のとき、消防士だけで消火活動や救助活動などをするのかな。 <p>○地域副読本『わたしたちの熊本』や写真から、どのようなところと連携、協力しているのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て気づいたことを發表しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ガス会社の車だ。会社の名前が車に書いてある。 ・何かのランプがある。なぜかな。 ・急いでどこに行くのかな。 ・水道局や電力会社とも協力している。 ・地震のときどのような連携があったのか考えてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・警察やガス会社も頑張っていた。 ・火災のときと同じように協力していると思う。 <p>○災害時にどのような組織が連携、協力しているのか理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震のような災害時は、県や市が中心になって組織を立ち上げる。 ・いろいろな組織が協力して活動している。 ・自衛隊も活動している。 ・市や県が中心になって、復旧活動や被害を減らすために頑張っている。 ・たくさんの人が協力して、私たちの安全を守っている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>火事ときは、ガス会社や電力会社の人たちと協力して、消火活動をしている。地震ときは、県や市が中心になって、たくさん組織が集まって、復旧活動に取り組んでいる。</p> </div>	<p>◎地域副読本『わたしたちの熊本』</p> <p>◎火事の現場の写真</p> <p>◎災害発生時の関係機関の協力のしくみ図</p> <p>◇写真から、消火活動や災害発生時に関係機関が協力して対応していることを確認し、災害発生時も同じであることに気づかせる。</p> <p>◆消防士の仕事や関係機関との協力について理解している。 (知・技/発言、ノート)</p>
---	---	--	--

<p>⑦ ⑧ ⑨ (見 つ め る ・ つ か む)</p>	<p>熊本地震での 関係機関や地 域の方の協力 について捉え る。</p>	<p>○災害時の関係機関や地域の方の工夫や努力、協力体制 について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防士以外の人たちは地震当時どんなことをし、今はどんな ことに取り組んでいるのだろう。 ・ 私たちも水や食料を準備している。 ・ 避難訓練をしている。 ・ 地震のとき、自衛隊の人が炊き出しをしていた。 ・ 自衛隊の人は日ごろから訓練や演習、様々な地域への 被災地支援をしている。 ・ 市役所の方が避難所の運営をしていた。 ・ 市役所では、今は新しいハザードマップや防災計画等 をつくっている。 ・ 消防団の人が避難所を回っていた。 ・ 消防団の人は普段は避難訓練をしている。自主防災ク ラブを設立したり防災倉庫を設置したりもしている。 ・ ボランティアの方が瓦礫を撤去してくれた。 ・ 最近はボランティアの活動は少なくなった。 ・ 調べて感じたことや考えたことを発表しよう。 ・ たくさんの方が助けてくれている。 ・ 自分にできることをしたい。 ・ 警察官、自衛隊などたくさんの方が来て、守ってくれ るからすごい。 <p>○調べたことから考えたことや思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本地震のときの様々な人たちの仕事について話し合お う。 ・ 消防署、警察署、自衛隊などが協力して私たちを助け てくれた。 ・ ボランティアの方のおかげで、すぐに復旧できたのだ と思う。 ・ 私たちも自分たちにできることをしなければならない。 ・ 寝る前にすぐに逃げられるように水などを備えておく ことはできる。 ・ 学習したことを振り返って、感想を書こう。 ・ 消防署をはじめ、消防団や地域の人たちなどたくさん の人たちが私たちを守ってくれている。 ・ 消防や自衛隊、ボランティアの人たちなどが助けてく れて今の生活がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>消防や自衛隊、ボランティアの人たち等が助けてく れて今の生活がある。自分たちも災害に備えなけれ ばならない。</p> </div>	<p>◎消防署の方へのインタ ビュー記事 ◎熊本市の復興計画・防災 計画 ◇私たち、自衛隊、市役所、 消防団、ボランティアに ついて、地震発生当時と 現在の活動を考えるよ うに助言する。</p> <p>◇それぞれの機関や人々 が協力して対応したこ とに気づかせる。</p> <p>◇災害に備えて、自分たち にできることも考えら れるようにする。</p> <p>◆災害時の関係機関や地 域の方の協力について 理解している。 (知・技/発言、ノート)</p>
--	---	--	---

<p>⑩ (出会う)</p>	<p>ボランティアのTさんが熊本地震のときに行った活動について問いを見出し、その目的を予想する。</p>	<p>○前時の授業を振り返る。 ・いろいろな人たちの協力で自分たちの安心した生活が守られていた。</p> <p>○西原村について紹介する。 ・熊本地震での熊本市以外のまちの様子を見てみよう。西原村の様子について思ったことを話し合おう。 ・家が崩れているし、瓦礫がいっぱいある。 ・これをきれいにするのは大変だ。 ・今はどうなっているのかな。</p> <p>○Tさんについて紹介し、取り組みについて考える。 ・熊本地震が起きたときに県外の大学に通っていたけれど、西原村の状況を見て帰ってきた大学生がTさんだ。 ・写真にあった瓦礫をきれいにしたり、壊れた家をきれいにしたりしに来た。 ・自分が住んでいた村だからきれいにしたかった。</p> <p>○ランプシェードの枠を見せ、何に使うのか考える。 ・瓦礫や家の中にある道具を載せて運ぶのだと思う。 ・食べ物を入れて、地震で大変な人のところに運ぶ。</p> <p>○ランプに火を灯した様子を見せる。 ・きれい。祭りで見たことがある。 ・なぜこのような明かりをつけるのかな。 ・瓦礫の撤去などの仕事はしないのかな。</p> <p>○「冬ほたる」の活動を紹介します、その意味を考える。 ・わざわざ西原村をきれいにするために帰ってきたのに、どうしてこんなことをしているのだろう。 ・明るくしてみんなで楽しめたかったのかな。 ・地域の人と一緒に活動しなかったのかな。 ・Tさんはどのような人なのかな。 ・他にどのようなことをしているのかな。 ・Tさんについて調べてみたいな。</p> <p>・なぜ、西原村のまちをきれいにするために帰って来たのに、「冬ほたる」の活動をしているのだろう。 ・地域の人と話をしたかったから。 ・地域の人と一緒に活動がしたかった。 ・地震で暗くなった地域を明るくしたかった。 ・暗いところを明るくしたかった。</p>	<p>◎熊本地震発生時の西原村の被害の写真 ◎ランプシェードの枠 ◎「冬ほたる」の写真 ◇「熊本地震」当時の写真を提示し、西原村の被害が大きかったことを理解できるようにする。</p> <p>◇Tさんが西原村に戻ってきた経緯について説明する。</p> <p>◆ボランティアのTさんの活動について疑問をもち、活動の目的を予想している。(態/発言)</p>
--------------------	--	--	---

<p>⑪ ⑫ ⑬ (関わる) 【本時】</p>	<p>Tさんの活動から、防災に大切なことを考え表現する。 地域の人と協力することの大切さを理解する。</p>	<p>○Tさんについて調べる。 ・大学を休学して、西原村で活動している。 ・「わかばミーティング」という団体をつくって活動している。 ・生まれ育った西原村を中心にいろいろなイベントや活動をしている。 ・活動や頑張っていることが新聞で紹介されている。 ・Tさんについて調べたことを発表し、調べたことをもとにTさんについて話し合おう。 ○調べたことを発表する。 ・「冬ほたる」の活動だけでなく、地域の人たちとそば打ちを一緒にしている。 ・地域の人と梅干しづくりもしている。 ・西原村や他の市町村と協力している。 ・「わかばミーティング」の活動以外にも様々な地域や団体と協力している。 ○Tさんの活動について、調べたことをもとに考え、発表する。 ・Tさんについて調べたことから、わかることや考えたことを書いて発表しよう。 ・Tさんは、瓦礫をどかしたり、何かをつくったりするのではなく、人が集まる活動をしている。 ・「冬ほたる」は、地域の人を集めたり地域の人と一緒に رفتりする活動だ。 ・Tさんが中心になって行っているからすごい。 ・自分がやりたいことや楽しいことをしているのではないかな。 ○Tさんの行動について考え、防災とは何かを考える。 ・Tさんは、なぜ人を集める活動ばかりをしているのだろう。 ・人が集まるといろいろなことができて楽しいからではないかな。 ・いろいろな人と協力していきたいと考えているのではないかな。 ・地域の人たちとつながりをつくりたいと思っているのではないかな。 ・自分が中心になって活動を広げたいと考えているのではないかな。主体的に活動することは大切だ。</p>	<p>◎Tさんの経歴(教師作成資料) ◎『週刊 DOGYAN』 ◎Tさんを紹介している新聞記事</p> <p>◇ランプシェードの枠を見せて、何に使うか予想させた後で、明かりを灯した写真を見せる。</p> <p>◇Tさんが人を集める活動をしていることに注目させる。</p> <p>◆防災のために地域の人と協力することの大切さを理解している。(知・技/発言, ノート) ◆Tさんの活動から、災害時に大切なことを考え、表現している。(思・判・表/発言, ノート)</p>
---	--	---	--

<p>⑭ (ふかめる)</p>	<p>学んだことをもとに自分たちにできることを考える。</p>	<p>○学んだことをもとに、自分たちの生活を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの町内でも公園でキャンプをしている。 ・私たちの地域でも、つながりを考えた活動があるかな。 ・地域の活動や普段の生活を振り返って話し合おう。 <p>○自分たちの町内の自治会の取り組みについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の自治会長たちは、5年間休まずラジオ体操に参加している。なんのために頑張っているのだろう。 ・みんなと仲良くなるため。 ・健康のためだけでなく、地域の人に来てもらって話をするためかな。 ・5年間も休まないなんてすごい。人とつながるために一生懸命だ。 ・人を集めるために活動をしているのだな。 ・なぜラジオ体操がつながりづくりになるのかな。 ・一緒に集まって同じことをするから同じ気持ちになれるのではないかな。 <p>○話し合いの中で、地域の活動や生活を振り返って「つながり」をつくれる活動を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操に月2・3回参加している。健康になるためだけだと思っていたけれど、地域の人が集まるから仲良くなってつながりができる。 ・夏休みに町内でバーベキューをしている。これもみんなが集まる活動だ。 <p>・本時に学習したことを振り返って感想を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で夏祭りをしているから参加してみたい。 ・地域のいろいろなことがつながりづくりになる。 ・自分にできることや生活を見直すことが大切だ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域の活動に参加したり，地域の方とつながったりすることは大切だ。地域の人とつながることが災害時やこれからの生活に役立つ。</p> </div>	<p>◎校区の町内で行っているラジオ体操の写真</p> <p>◇自治会長の地域で信頼関係を築きたいという思いや「頑張り賞」の取り組みについて紹介する。</p> <p>◇自分のまわりや生活を振り返り，地域で「つながり」をつくるための活動を見つける。</p> <p>◆災害に備えて地域のつながりをつくるために自分たちにできることを考えようとしている。 (態／ノート)</p>
---------------------	---------------------------------	--	---

6. 本時の指導(第13時)

(1) 本時のねらい

Tさんが西原村で取り組んでいる活動について考えることを通して、Tさんの活動の意味や「つながり」の大切さについて捉えることができる。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T:発問 C:児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
5	<p>○これまでの学習を振り返る。 T:これまでの学習を振り返って、考えたことを発表しましょう。 C:なぜ、Tさんは、「冬ほたる」「そば打ち交流会」などの活動をしているのかな。 C:学校を休んで、西原村のために頑張っているのはすごいな。 C:西原村が好きだから、地域で活動しているのかな。 C:自分で「わかばミーティング」という団体をつくるのはすごいな。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時の問い</p> <p>Tさんは西原村をきれいにするために帰って来たのに、人が集まるための活動をしているのはなぜだろう。</p> </div>	<p>◎前時までの学習内容(教室に掲示しておく) ◇前時の子どもの感想については、座席表形式などにまとめて把握しておき、指名を意図的に行いたい。 ◇前時までの学習を振り返り、考えたことを確認する。</p>
15	<p>○調べたこと、考えたことをもとに話し合う。 C:Tさんは、なぜ、人が集まる活動ばかりしているのだろう。 C:「そば打ち交流会」や「食器市」などは、地域の人たちが集まってくると思う。 C:「百物語」もおもしろそうだ。地域の人が集まってくるのではないかな。 C:「週刊DOGYAN」で、いろいろなイベントを知って、地域の人が集まってくるのだと思う。 C:地域の人が集まると何かいいことがあるのかな。 C:地域のみみんなと仲良くなれるのではないかな。 C:4年3組でも「絆を深める会」とか「全員遊び」をしたら仲良くなれたよね。 C:地域の「子ども会」でもみんなが仲良くなって友だちになれたな。</p>	<p>◇子どもたちの発言をつなげて板書を行う。</p>
5	<p>○話し合いから考えたことを書く。 T:Tさんの活動について、話し合ってから考えたことを書きましょう。 C:Tさんは、みんなが仲良くする場所をつくりたかったんだ。 C:友だちの考えを聞いて、地域の人が集まるとよいことあると思った。</p>	<p>◇ノートにまとめ、ここまでの話し合いについて、自分の考えを整理させる。</p>
15	<p>○調べたこと、考えたことをもとに話し合う。 T:なぜ、地域の人が集まって仲良くなるとよいのかな。 C:一度仲良くなると、ずっと関係が続くからよいと思うな。 C:いろいろな活動をしていくと地域の人と人がつながっていくのかな。 C:私の町内でも、バーベキューやキャンプをしているな。 C:地域では、人と人とのつながりが大切になってくるんだ。 C:いろいろな活動で地域の人がつながるから意味があるんだ。 C:人とつながったり、協力したりすることが、地震のときに役立つんだ。</p>	<p>◎「わかばミーティング」の考え方がわかる資料(適宜提示する)</p>

5	<p>○本時を振り返り感想を書く。 T：今日の学習を振り返って感想を書きましょう。 C：地域の活動に参加したり，地域の方とつながったりすることは大切なんだ。 C：地域の人とつながると，災害のときやこれからの生活に役立つんだ。</p>	<p>◇自分の考えたことや友だちの考えでよかったところなどを書く。 ◆Tさんの活動を調べ，活動の意味や防災の観点から地域のつながりの大切さを捉えている。(知・技／発言，ノート)</p>
---	---	---